

2019年1月理事会議事録

日 時：2019年1月26日（土）14：00～17：30

場 所：日本考古学協会事務所

出席：谷川章雄・近藤英夫・植田 真・大島直行・小笠原永隆・小澤正人・河村好光・佐古和枝・佐々木和博・佐々木憲一・杉井 健・関根達人・滝沢 誠・谷畑美帆・都築恵美子・中嶋郁夫・萩野谷 悟・堀内秀樹・松崎元樹・馬淵和雄・宮里 修・長瀬 衛、監事：唐澤至朗・橋本裕行、（事務局：林 純子・堀田菜摘子）

欠 席：矢島國雄・菊池誠一

進 行：関根達人

議 長：谷川章雄

関根理事から、本日の出席者は24名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

関根理事から、大阪府の館 邦典会員が2018年1月20日、山口県の内田 悟会員が9月29日、山形県の小野 忍会員が11月15日、奈良県の藤田和尊会員が12月4日、三重県の杉谷政樹会員が12月7日、埼玉県の飯田充晴会員が12月13日、北海道の斎藤 傑会員が2019年1月17日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第505号 第85回（2019年度）総会議案について

中嶋理事から、第85回総会議題案の審議事項並びに報告事項の提示があり、原案通り承認した。

議案第506号 2019年度予算について

萩野谷理事から、2019年度の収入見込み額に対し、各委員会から提出された予算要求額が上回っていることが報告された。今後、各事業の増額理由や2018年度の支出状況等を踏まえて検討・調整し、3月の理事会に予算案を提出するとの説明があり、承認した。

議案第507号 常務理事の委嘱（事務局長の任命）について

谷川会長から、長瀬事務局長が本年3月31日をもって退職することになったため、定款第48条に基づき、次期事務局長として東京都の高麗 正会員を任命する旨の報告があり、承認した。併せて、常務理事は総会承認であることから、第85回総会に諮るとの説明があった。

議案第508号 2019年度新入賛助会員の承認について

植田理事から、2019年度新入賛助会員の申込みは、法人会員1件、フレンドシップ会員5名の申込総数1団体・5名であり、2018年12月8日（土）に開催された入会資格審査委員会では申込者について特段の意見はなかったとの報告があった。これを受けて、審議の

結果、全申込者について入会資格を承認し、総会に諮ることとした。なお、法人会員については3月上旬に全正会員に名簿を送付する。

議案第509号 第85回総会開催時における託児所設置について

滝沢理事から、会員から要望のあった総会における託児所の設置について第85回総会実行委員会に諮ったところ、実行委員会より実施概要案が提示されたとの説明があった。審議の結果、①第85回総会においては大学構内に託児所を設け、実行委員会による業者委託とする。②保育料金については利用者負担とし、会員と非会員で差額を設ける。③スタッフの派遣人数に係わるため事前申込みとし、当日申込みは行わない。④原則的に利用者負担金と実行委員会の予算内で対応することで、試験的に託児所を設置することを承認した。また、今後の託児所の設置については、実行委員会の体制・事情を鑑みて、実行委員会の提案で実施することを確認した。

議案第510号 日本考古学協会賞規定の一部改正について

関根理事から、日本考古学協会優秀論文賞の応募について不明瞭な部分があったので、優秀論文賞は、機関誌『日本考古学』『Japanese Journal of Archaeology』それぞれの編集委員会からの推薦に基づいて選考されることを明記したとの説明があり、原案通り承認した。

議案第511号 退会の承認について

佐々木和博理事から、宮城県の*会員、東京都の*会員・*会員、神奈川県*会員・*会員、長野県の*会員、静岡県*会員、愛知県の*会員・*会員、京都府*会員、大阪府*会員、愛媛県の*会員、沖縄県の*会員の計13名から2018年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、退会を承認した。また、未納会費のある会員から提出された退会届けについては、未納額を納入してからの退会承認とすることとし、未納額の納入を求める。

報告第689号 第85回（2019年度）総会・研究発表について

河村理事から、第85回総会内容の報告があり、第1日目は総会、公開講演会とセッション、第2日目は口頭発表3会場30件、セッション4会場8件、ポスターセッション37件、高校生ポスターセッション16件であることが説明され、了承した。

報告第690号 2019年度新入会員入会資格審査報告

植田理事から、2018年12月8日（土）に第1回入会資格審査委員会を開催し、委員長に上敷領久会員、副委員長に橋本真紀夫会員を選出して、2019年度新入正会員の資格審査、及び賛助会員の予備審査を行った。①正会員については、審査の結果、申込総数48名のうち、資格基準を満たす者47名、保留1名と判断された。2019年1月16日（水）に、委員長と副委員長による第2回入会資格審査委員会を開催し、保留1名の再審査を行ったところ、業績不足により資格基準に該当しないと判断された。よって、2019年度新入会員資格基準該当者は47名となり、3月上旬に全会員に名簿を送付する。②賛助会員については、法人

会員1件、フレンドシップ会員5名の申込のうち、特に意見のある申込者はなく、その旨を理事会に報告することとしたとの報告があり、了承した。

報告第691号 会費高額滞納者について

都築理事から、3万円の高額滞納者39名の報告があり、長瀬常務理事が補足説明の上、各理事が分担して督促に当たることとなった。

報告第692号 協会設立70周年記念事業報告

小澤理事から、①70周年記念講演会を、i) 2018年11月3日(土)に静岡市立登呂博物館と共催で「子どもたちと語る考古学と未来」と題して実施した。ii) 11月17日(土)に千葉市教育委員会と共催で「加曽利貝塚の現代的意義—調査と保存の歴史に学ぶ—」と題して実施し、約200名の参加を得た。②『日本考古学・最前線』を2018年11月10日に雄山閣から刊行した。③2019年度の公開講演会はモヨロ貝塚と岩宿遺跡で計画しているとの報告があり、了承した。

報告第693号 賛助会員(フレンドシップ会員)学習会実施報告

大島理事から、賛助会員(フレンドシップ会員)へ学習機会の提供として、講演会等の情報提供を行うと共に、2018年11月27日(火)に明治大学博物館の「特別展 ウィリアム・ガウランドと日本の古墳研究」を忽那学芸員に説明いただいて見学し、終了後に矢島副会長との懇談機会を設け、4名の参加を得たとの報告があり、了承した。

報告第694号 アイヌ民族に関する研究についての研究倫理指針(仮称)について

関根理事から、これまでのアイヌ人骨・副葬品に係る調査研究の在り方に関するラウンドテーブル(以下、アイヌラウンドテーブル)の経過が整理され、現在は研究倫理委員会の立ち上げにあたり「アイヌ民族に関する研究についての研究倫理指針(仮称)」の策定が進められているとの報告があった。この指針の中間報告の内容について、前理事会で担当し現在も関わりのある佐藤宏之会員に、3月理事会で詳細を伺うこととしたいとの説明があり、了承した。

報告第695号 アイヌラウンドテーブル公開講演会について

関根理事から、アイヌラウンドテーブルに参加している北海道アイヌ協会・日本人類学会と共催で2016年度から行っている公開講演会について、今年度は日本人類学会が主催となり、明日1月27日(日)に東京工業大学で「考古学・人類学とアイヌ民族—ヒトと暮らしを探る—」をテーマに開催するとの説明があり、発表者や発表内容について了承した。

報告第696号 災害対応委員会報告

杉井理事から、①2018年12月20日(木)に、近藤副会長及び埋蔵文化財保護対策委員会の田尻委員と、佐賀県基山町にある特別史跡基肆城を訪問し平成30年7月豪雨による被災状況の確認を行った。②2019年1月3日(木)の地震で熊本県和水町にある江田船山古墳の石棺が被害を受けたとの報告があった。続けて近藤副会長から、基肆城については例年

3月に実施している文化庁懇談でも取り上げる予定であるとの補足説明があり、了承した。

報告第697号 陵墓報告

杉井理事から、①事前調査見学が2018年11月22日（木）に大山古墳（仁徳天皇陵）で実施され、16学協会43名が参加し、当会からは杉井理事・滝沢理事・佐古理事が参加した。②立会調査見学が2019年1月25日（金）に市庭古墳（平城天皇陵）で実施され、12学協会18名が参加し、当会からは佐古理事が参加したことが報告され、了承した。

報告第698号 埋蔵文化財保護対策委員会報告

松崎理事から、2018年11月17日（日）に11月幹事会を開催し、①2018年度静岡大会時の情報交換会について情報共有を行った。②「文化財保護法に基づく文化財保存活用大綱・文化財保存活用地域計画・保存活用計画の作成等に関する指針（案）」について、決定まで早急な日程が予定されていることから今後の対応について協議した。③神奈川県三浦市の埋蔵文化財収蔵庫が老朽化により大雨時の浸水や雨漏り等が発生していることについて、現地訪問及び関係機関と面談を行い、引き続き注視していく。④北本市デーノタメ遺跡について、11月14日（水）に関東甲信越静連絡会で現地見学を行った。⑤鎌倉市大倉幕府跡について、現地で開催された「大倉幕府を巡るフォーラム」の内容が馬淵理事から報告され、今後も注視する必要がある。

また、12月15日（土）に12月幹事会を開催し、①佐賀県基山町基肆城の豪雨による被災状況、及び長崎県庁跡地の建設計画について、現地訪問及び面談を行う予定で進めている。②東京都港区済海寺の伊予松山藩主久松家墓所の改葬に伴う埋蔵文化財の取扱いについて、これまでの経緯が報告され、経過を注視しつつ、関係機関への取組みを継続する予定である。③千葉県鴨川市・南房総市に所在する嶺岡杖について、野生動物による被害が拡大していることから保存要望書の提出を準備する。なお、2019年1月20日（日）に開催された1月幹事会では、基肆城及び長崎県庁跡地の訪問報告や、済海寺の伊予松山藩主久松家墓所の港区との懇談報告などが行われ、今後の対策を検討したことが報告され、了承した。

報告第699号 国際交流委員会報告

宮里理事から、2018年12月9日（日）及び2019年1月12日（土）に委員会を開催し、①英文ホームページに掲載している遺跡紹介について、将来的に中国語と韓国語での掲載を計画し、検討を進める。②新年度の委員会体制について協議した。③1月21日（土）に早稲田大学において、「アジアの貨幣」をテーマに第12回アジア考古学四学会合同講演会を開催し、92名の参加を得たとの報告があった。中国語・韓国語での掲載については事前調整がなく、英文化の定着が優先であり、今後の検討が必要であるとの意見が出された。

報告第700号 研究環境検討委員会報告

堀内理事から、2018年12月2日（日）に委員会を開催し、①2018年度静岡大会ポスターセッションで行った会場アンケートの意見を、「埋蔵文化財保護行政に関わる職員の採用動向に関するアンケート」の分析に反映し、意見交換を行った。②これまで実施したアン

ケート結果を踏まえて、委員会として提言を行う方向性で内容を協議した。③認定考古士については、これまで情報収集と意見交換を行ってきたが、文化財保護法の改正や、それに伴う文化庁の研修制度が始まることから、他の委員会と連携しつつ、新たな状況の推移を見守る方針とするとの報告があり、了承した。

報告第701号 社会科・歴史教科書等検討委員会報告

谷畑理事から、2018年12月9日（日）に委員会を開催し、①2018年度静岡大会でのポスターセッションの総括を行った。また、2019年度第85回総会で行うポスターセッションについて協議した。②協会公式サイト「考古学と教育」コンテンツの充実を図るため、掲載内容を協議し、子供向けコンテンツ、教員及び保護者向けコンテンツ、外部既存サイトとのリンク等で構成するとの報告があった。なお、「考古学と教育」コンテンツ作成にあたっての考古学資料を活用したモデル授業の実施計画については、学校現場へ当協会が直接関与することは適切でないとして、再検討が求められた。

報告第702号 英文機関誌編集委員会報告

佐々木憲一理事から、『Japanese Journal of Archaeology』（以下、JJA）Vol. 6, No. 1を2018年11月30日に刊行したとの報告があった。また、12月15日（土）に編集委員会を開催し、①次号『JJA』Vol. 6, No. 2についての編集状況及び掲載予定内容について協議した。②今年度の事業として、2019年2月20日（水）に「査読英文誌掲載を目指す論文執筆」の第2回ワークショップを九州大学で、また3月8日（金）にハーヴァード大学のアジア考古学セミナーでワークショップを行い、『JJA』の投稿促進を図る。③2019年度第85回総会で開催予定のセッションについて内容の確認を行った。④2019年度の事業日程について協議したとの報告があり、了承した。

報告第703号 会長及び副会長の職務執行報告

近藤副会長から、定款第24条第3項の定めにより、2018年度上半期の会長・副会長としての各種行事・会議の参加等、職務執行状況について報告があった。

報告第704号 著作権規定の様式整備について

中嶋理事から、2018年度静岡大会実行委員会では分科会Ⅲの発表成果の出版を計画しており、出版にあたる手続きについて照会があったことが説明された。続けて小笠原理事から、本件は著作権規定第4条第2項により著作権は協会に帰属しているため、静岡大会実行委員会から著作権規定第7条第4項に規定される著作権利用許諾申請書の提出が必要である旨が説明された。これまで著作権規定に示された各種様式の整備が進んでいなかったことから、この機会に様式整備を行うと共に、著作権規定の運用や手続き等についてマニュアルの作成をワーキンググループを中心に進めたいとの報告があり、了承した。

報告第705号 会費の振込手数料の会員負担のお知らせについて

都築理事から、2018年10月理事会議案第500号で承認された、郵便振替口座への会費振込手数料を2020年度会費の納付から会員負担とすることについて、3月会報原稿が提示さ

れ、2019年度第85回総会で会員に説明し理解を求めることで、了承した。

報告第706号 『日本考古学年報』の規格変更のお知らせについて

小笠原理事から、2018年10月理事会議案第498号で承認された、『日本考古学年報』の体裁の変更について、3月会報の掲載原稿が提示された。2020年度発行の『年報』71以降は、現状の「B5判・1段組・上製本」から「A4判・2段組・並製本」へ変更することを、会報掲載と共に、2019年度第85回総会で報告して会員の理解を求めるとの報告があり、了承した。

報告第707号 日本西アジア考古学会発掘調査報告会の後援依頼について

長瀬常務理事から、日本西アジア考古学会から「第26回西アジア発掘調査報告会」の後援依頼があり、名義の使用を承認したとの報告があり、了承した。

その他

(1) 2019年度ゴールデンウィーク大型連休に伴う対応について

長瀬事務局長から、来年度のゴールデンウィークが10連休となり、また第85回総会が例年より1週間早いことから、決算や総会時の刊行物の締切が早いことが説明され、各理事に協力が求められた。

(2) 2019年度総会時刊行物の会員への送付について

長瀬事務局長から、2019年度第85回総会後の会員への刊行物発送について、昨年までと異なり着払いで2回発送することから、会員への周知徹底が必要なことが説明され、『会報』No.196掲載のお知らせ原稿が提示された。

(3) 永年在籍会員の顕彰について

谷川会長から、永年在籍会員の顕彰について、今後も継続して行う必要があるのではないかと提案があり、財政状況や事務手続き等を考慮して方法等について検討することとなった。

以 上